

## 第102回郡山市都市計画審議会 議事録（概要）

### 1 開催日時

令和元年11月28日（木） 午前10時から午後12時

### 2 開催場所

郡山市総合福祉センター 5階 集会室

### 3 出席者

(1) 委員 13名（20名中）

(2) 事務局 10名

### 4 会議の公開・非公開の別及び傍聴者

公開 傍聴者1名

### 5 議題

#### (1) 協議事項

郡山市市街化調整区域地区計画運用指針（旧福島県農業試験場跡地周辺地区）（案）の策定について

#### (2) その他

委員からのご意見

旧福島県農業試験場跡地周辺地区（富田町字若宮前 外 地内）において、「メディカルヒルズ郡山基本構想 2.0」の実現に向け、地区計画を活用するため、今年度の策定・公表を予定している『郡山市市街化調整区域地区計画運用指針（旧福島県農業試験場跡地周辺地区）』について、素案を提示し委員の了承を得た。

### 6 議事（要旨）

#### (1) 協議事項

郡山市市街化調整区域地区計画運用指針（旧福島県農業試験場跡地周辺地区）（案）の策定について

#### 【事務局】

2016年に開業した「ふくしま医療機器開発支援センター」を活用し、医療機器関連産業の分野の新たな産業集積の拠点形成を目指す『（仮称）メディカルヒルズ郡山基本構想』を2016年3月、また、当該地に求められる具体的な機能等を整理した『メディカルヒルズ郡山基本構想 2.0』が2019年11月に策定された。当運用指針は、この構想に基づき秩序ある土地利用が図られるよう策定するものであり、当該地を3つのゾーンに分類し、「ふくしま医療機器開発支援センター」に隣接するゾーン1及びゾーン2から先行して土地利用の誘導を図っていく考えである。ゾーン1が郡山富田駅を生かし賑わいと魅力ある商業・業務機能の集積、ゾーン2では、医療関連産業を中心として医療のほか、健康維持・スポーツ等のヘルスケアや介護・福祉機能等の集積、さらに、両ゾーンともに、交流機能や行政サービス機能などの充実を図っていくことを想定しており、民間活力の活用も含めた多様な土地利用が可能となるものと考えている。

<委員からの主な意見・質問及び事務局の回答>

【委員】

地区計画作成においては、住民等に対して、市主導の懇談会や説明会など開催すべきではないか。また、ゾーン1は第2種住居地域ではなく、商業系の用途に位置づける考えはないのか。

【事務局】

当該地以外の運用指針においては、地域勉強会という形で地域に入っている例もある。地区計画制度とは何か、制度の説明やPRを兼ね、地域住民や事業者に周知していく。また、用途については、第二種住居地域でも商業系の土地利用は可能となっている。なお、大規模な店舗は想定していない。

【委員】

アクセス道路の具体的な考え方について聞きたい。

【事務局】

アクセス道路については、内環状線、郡山インター線、郡山富田駅に配慮した形で、一体的な整備ができればと考えている。

【委員】

医療関連産業の集積のイメージがあれば確認したい。

【事務局】

医療関連産業の集積については、既存の「ふくしま医療機器開発支援センター」にある企業向けラボが、早い段階から満室となっており、技術開発等を行うため継続的に支援を希望する企業もあることから、そういった需要もあると考えている。

【委員】

バリアフリー法で位置づけられていることを守っていただきたい。

【事務局】

内容に反映したいと考えている。

【委員】

住民がどう参加できるかという点で、「民間から案が提案され、それを市が認める」だけでなく、住民が土俵に上がる場を設けるといった一文を入れること。

【事務局】

了

## (2) その他

<委員からの主な意見・質問及び事務局の回答>

【委員】

台風第19号の浸水地域と居住誘導地域が重なっていた新聞報道があり、審議会で決定した居住誘導区域でもあるので、問題がなかったのかを含めて情報を確認したい。

【事務局】

今回の会議で少し詳しく報告したいと考えている。